

# JA 越後さんとう

## これまでの実践内容と成果

### 1. 農業者の所得増大と農業生産の拡大に向けた取り組み

- 主食用米 1 等米比率の達成。

平成 23 年より「JA 越後さんとう産米 品質向上 3 1 0 運動」を展開しており、主食用米において 4 年連続 1 等級比率 9 0 % 以上を達成しました。

◎ H26 : 92.2% ⇒ H27 : 93.4% ⇒ H28 : 93.8% ⇒ H29 : 91.4%

- 多収穫業務用米の取組み。

平成 26 年より実需との契約栽培を行い、コシヒカリと作業時期の異なる多収穫で作りやすい、生産コスト（安価な肥料提供）を抑えた業務用米の拡大に取り組んでいます。

◎ H26 : 33.5ha ⇒ H27 : 81.3ha ⇒ H28 : 127.6ha ⇒ H29 : 263.2ha

- 生産コスト低減による農家所得の増大。

予約購買取引においては、肥料の予約奨励価格の設定に加え、直送・自己取り奨励価格を設定することにより、更なる生産コスト低減を図っています。

以下は、当 JA 当用価格に対し、予約と直送・自己取りにより低減を図った価格（生産コスト）を、農家への還元金額として表しています。

◎平成 29 年用予約肥料直送

予約還元金額 14,422 千円 直送還元金額 2,026 千円

◎平成 29 年用自己取り

予約還元金額 9,953 千円 自己取り還元金額 1,088 千円

- 子会社（(株)アグリサポートさんとう）の設立。

地域農業の生産力と農地を守り、農村社会の暮らしと文化を継承することを理念に掲げ、営農経済委員会等で検討を進めると共に、農家組合および生産者に「JA が農業経営を行うための意向調査」を実施するなど検討を重ねてきました。

その後、集落座談会等での説明を経て、第 15 回通常総代会でご承認いただき、平成 28 年 10 月 3 日に農地所有適格法人(株)アグリサポートさんとうを設立しました。

経営規模は、当初計画の 15ha を大きく上回る 33ha からスタートしました。



## 2. 地域の活性化に向けた取り組み

### ○ 食農教育活動。

小学校の米づくり・畑作体験をはじめ、JA サマースクールや保育園出前授業など、“食”と“農”をつなぐ活動を実施しています。

### ○ 高齢者福祉活動。

健康ウォーキングの開催をはじめ、健康教室の開催地域を拡大し、“健康づくり”の活動を実施しています。

### ○ 文化活動。

“仲間づくり・絆づくり”に向けたさまざまなサークル活動の支援を行い、「サークル交流発表会」等を開催しています。



## 自己改革完遂に向けた取り組み

○ 需要に応じた高品質米の高位安定生産と契約栽培・産地指定等の結び付き販売を強化し、農業者の所得の増大を図ります。

○ 水田活用米穀・大豆・麦等の需要のある作物の生産振興により、農業生産の拡大を図ります。

○ 担い手の確保・育成と効率的かつ安定的な農業経営基盤の強化に取り組みます。